

当会議は、とくしまの学校における働き方改革プランで掲げた目標達成のため、現場の先生方から意見を聞きながら、より実効性のある取組を推進することを目的とした会議です。今年度第2回会議を8月22日に開催しました。

会議前半は、教育研究家 妹尾昌俊さんに御参加いただき、意見交換を行いました！

【チーム委員】自校の生徒が頑張っているのを見ると、自分ももっと頑張らないと、という思いがあります。

【妹尾さん】過度な課題・補習等が「残業の練習」のようになっていますか？中高生の「バーンアウト」を誘発している可能性があります。

【チーム委員】子供に関わることは、なかなか削ることはできません。

【妹尾さん】「子供のためになること(行事・提出物の丸付け等)」も、仕分けを。教員の働き方改革は、子供の負担軽減にも繋がります。「ねばならない」という固定観念からもっと自由になりましょう。

【チーム委員】「教育ダッシュボード*」の活用について教えてください。
*複数の教育データをひとまとめにして活用するツールのこと

【妹尾さん】渋谷区では、ICTを活用し、個々の子供の様子について、教員の経験や勘だけに頼るのではなく、教育データを活用して客観的に把握するという取組を始めています。

【チーム委員】所属校(中学校)にて校時表の見直しを進めるにあたり、1単位時間を50分から45分に変更することは可能ですか？

【妹尾さん】できます。変更前後の差(5分)を別途実施することによって可能となります。教育課程の編成は各学校で工夫してください。

会議後半は、文部科学省学校DX戦略アドバイザー 坂本良晶さんに御講演いただきました！

「働き方」の「マインドセット(心構え)」と「アップデート(更新)」について



前半は、著書「全部やろうはバカやろう」の内容より、お話しいただきました。教員の、本質的に重要度の高い仕事とは何か？考えるきっかけをいただきました。

クラウドツールの活用について「Canvaワークショップ」を開催！！



GIGAの本質→

一人一台のクラウド運用
(クラウド・バイ・デフォルトの原則)

後半は、「Canva」ワークショップを実施。クラウドツールによる効率的・効果的な教育活動を体感しました。

Canvaというグローバル企業に入ったことによって、これまで先達が築き上げてきた「日本の教育レベルの高さ」に気づいたそうです。そこにICTを掛け合わせ、「日本の教育の素晴らしさを世界に発信したい」と励ましの言葉をいただきました。

講演の様子は「とくしまの学校における働き方改革HP」にて、10月末まで視聴することができます。

【URL】<https://hatarakikata.tokushima-ec.ed.jp/>

